

# Funehiki High School News

vol.159

～がんばる船高生～  
**ATTENTION!**

## 第39回 令和2年度高等学校新人体育大会 剣道競技県大会出場決定 剣道部



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から高校総体や国体が全国的に中止となりました。その後、予防策を徹底することにより再び大会が開催されるようになってきました。

今回は9月26日から28日に行われた令和2年度高等学校新人体育大会剣道競技県南地区大会において男子個人戦で準優勝し、団体戦でも活躍した高野晃義さん（1年、船引中出身）に話を聞きました。

— 剣道を始めたきっかけは？

**高野さん** 父をはじめとして家族や親戚で剣道をしている人が多く、自然と剣道に親しむ環境がありました。そのため、小学2年生の時から船引町内の剣道場に通い始めました。今も時間があるときは道場で腕を磨いています。

— 剣道の魅力は何ですか？

**高野さん** 剣道は礼に始まり礼に終わるため、あいさつや礼儀作法が身に付いたと感ずることです。また、一生懸命に練習に取り組んで試合に勝ったときや気持ちよく一本を取ったときなどはとてもうれしいです。

— 日頃の練習で意識していることは何ですか？

**高野さん** 日頃は基本技を練習したり、先輩方と試合形式の練習に取り組んだりしています。大会のたびに試合内容を反省し、自分ができなかったことを日々の練習で克服できるように意識しています。私は胴打ちを苦手としているので、今はその克服に力を入れています。顧問の先生や道場の指導者もアドバイスをしてくださり、練習で改善されたときは「良くなったね。」と言っただけです。

— 県南地区大会で得られた手応えは何ですか？

**高野さん** 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から剣道は対人練習ができませんでした。そのため、対人練習ができるまでは筋力トレーニングをしていました。その結果、体力が付き、技のスピードが上がり、打ちの強さがついたと感じています。大会当日は調子が良く、足が動き、いい試合ができたと感じています。準優勝したという実感はなかなか湧きませんでした。自信になりました。

— 県大会に向けての意気込みを聞かせてください。

**高野さん** 県大会は団体戦が10月24日・25日、個人戦が11月8日（日）に開催されます。県南地区大会での反省を生かして練習に取り組み、試合では伸び伸びと自分の長所を生かした試合運びをしたいと考えています。



## ◆令和2年全国地域安全活動 地域安全標語コンクールに入賞しました

福島県防犯協会連合会主催地域安全運動・暴力追放運動に関する標語コンクールに応募し、本校生徒の作品が入賞しました。安全で住みよい地域社会の実現を呼びかけるための標語としてポスターや看板などに掲載されます。

- 最優秀作品 「ネットより リアルで繋がる 大切さ」  
1年 秋元 那津美（大越中出身）
- 優秀作品 「気をつけて SNS の 裏の顔」  
1年 古川 亜沙美（船引中出身）
- 佳作 「毎日の 見守る目と目が 地域の命」  
1年 松本 萌（船引中出身）



▲左から松本さん、古川さん、秋元さん



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...[funehiki-h@fcs.ed.jp](mailto:funehiki-h@fcs.ed.jp)



# 福島県立たむら支援学校だより vol.1

## はじめまして『たむら支援学校』です！

福島県立たむら支援学校は、平成29年4月に開校した、知的障がいのある児童生徒が通う特別支援学校です。小学部・中学部は、旧春山小学校校舎を再利用した春山校舎に、高等部は、船引高等学校の空き教室を利用した石崎校舎にそれぞれ開校しました。現在は、小学部35人・中学部14人・高等部37人の合計86人がそれぞれの校舎で学んでいます。



▲旧春山小学校校舎を再利用した春山校舎

## 【地域と共にある学校を目指して】

船引小学校、船引中学校、船引高等学校との交流活動をはじめとして、船引町の灯籠流しと花火大会や船引地区文化祭には毎年参加させていただいております。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になった行事もありますが、感染症対策を行いながら、地元の小・中・高校との交流活動や、JA福島さくら（ふあせるたむら）や県中農林事務所との農業体験活動、田村市在住の講師による書き初めの授業などを行っていきたく考えております。今後は、広報誌を通して、学校の取り組みを紹介していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



▲船引高等学校内にある石崎校舎

## 【校章】について

田村市の豊かな自然のシンボルである大滝根川を下方に配置し、左上には名峰片曾根山を配置しました。そして中央上方には、たむら支援学校の「た」の文字をつつじの花びらで、また、おしべとめしべで小学部・中学部・高等部を表現しています。



## 福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel...0247-82-4114 Fax...0247-82-4119  
【石崎校舎】Tel...0247-82-4627 Fax...0247-82-4629  
HP...<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail...[tamura-sh@fcs.ed.jp](mailto:tamura-sh@fcs.ed.jp)



広告欄 Advertisement

# 有料広告募集中

問い合わせ...総務部 経営戦略室 (☎0247-81-2117) へ